

くみこアレルギークリニック 『子ども食堂』開催のご案内

第2回

<開催日> 2018年11月14日(水) *要予約

<実施時間> 11時～15時

<参加費> ◎食事
大人 500円
小・中・高 300円
幼児 100円
◎交流会 お一人 100円

<開催場所> くみこクリニック北山院 2階

くみこクリニック主催アレルギー対応子ども食堂開催
特定原材料7品目除去(卵・小麦・牛乳・エビ・カニ・そば・落花生)の
食事を医療スタッフと保護者の方と一緒に手作りします。

皆さんと、アレルギー専門医、看護師・保育士と一緒に食事を
楽しみ、たくさん情報交換をしましょう！

参加される方はメニュー及び原材料名を各自ご確認の上、
必ず処方されている内服薬及びエビベン、
保険証等をご持参ください。

お問合せやお申し込みは、くみこクリニック北山院まで
TEL 075-712-8615



アレルギー対応
特定原材料7品目
除去

ちょっとブレイク

漢方薬とのお付き合い

中学生の頃ニキビが沢山できてしまい、母が色々探して漢方薬局に連れていってくれました。2種類の漢方を購入して1年内服しました。なんとなく良かったような気がしましたが、病院ではなく漢方薬局なので高額で続きませんでした。それから大人になるまで漢方を飲む機会がありませんでしたが、やはりお年頃になってくると…お悩みも出てきて(ー;)私の悩みは、肩こり・便秘・時々イライラ・時々寝ても疲れがとれない・日中の眠気など。皆さまはいかがでしょう。男性も女性も何かしらお悩み、ありますよね。東洋医学は病気をみるのではなく、その人自身を診て治療していきます。どうしたらいいかわからない“しんどさ”も解決できるかもしれません。薬局で簡単に手に入る漢方も時には良いかもしれませんが、医師による東洋医学の診察を受けて、ご自分の身体を知って漢方と付き合っていくのはいかがですか？その時々によって体調は変わりますので、ずっと同じ漢方薬ではないことも多いです。ちなみに私もすっきりしない時はくみこ先生に診察(脈診・舌診・時に腹診)を受けて処方してもらっています。毎回、なるほど！という答えをもらっています。

北山院 看護師 横井薫

くみこクリニック

医療法人 司美会 くみこクリニック

HP: <http://www.kumiko-clinic.jp/>

電話番号: 075-712-8615

美★通信 Vol.36

発行: 2018年11月

10周年パーティに多数ご参加いただきありがとうございました。
くみこクリニックは11月より新体制を迎え、気持ちも新たに再出発致します。
引き続き、皆さまの“美”と“健康”のお手伝いをさせていただきたいと思
いますので、これからもどうぞよろしくお願い致します。

2018.10.18 10th 記念

By SODOH東山



皆さまからの温かい「祝辞ありがとうございます」といいます。

血管運動性鼻炎について

10月は秋の花粉症で来院される方がとても多かったです。

11月になると、花粉による鼻炎は減りますが、外気と室内との温度差などによる鼻炎によって悩まれる方も増えてくるかもしれません。今回は血管運動性鼻炎についてお話しします。

くしゃみ、鼻水、鼻詰まりは、体への異物の侵入を阻止し、排除しようとする防御のメカニズムです。これらの症状が過剰に現れた状態を鼻過敏症といいます。鼻過敏症には、アレルギー性鼻炎と血管運動性鼻炎の二つがあります。

鼻の粘膜にアレルギー反応が起こるのがアレルギー性鼻炎で、繰り返す発作性のくしゃみ、鼻水、鼻詰まりの三つが主な症状です。

血管運動性鼻炎は、アレルギー反応の関与が証明できないため原因がはっきりしないものの、鼻粘膜の自律神経の異常によって、くしゃみ、鼻水、鼻詰まりといったアレルギー性鼻炎と同じ症状を示す病気です。

特定のはっきりした原因が不明ですが、考えられることとして、

- 外気の急激な温度変化（暖かい部屋から出て外の冷たい空気に触れるなど）
- たばこの煙や化粧品などの吸入
- 飲酒
- 精神的ストレス
- 妊娠

などが刺激となり、鼻の自律神経の働きが異常になって起こると考えられています。

アレルギー性鼻炎の治療では抗原の除去・吸入回避が重要ですが、血管運動性鼻炎は、アレルギー反応で起きているものではないので、症状を抑える対症療法が主体になります。もちろんこの2つの鼻炎が重複することもあります。

薬物治療では、抗ヒスタミン薬などの内服薬、副腎皮質ホルモンや抗ヒスタミン剤が含まれる点鼻薬が主に使われます。薬物療法に効果を示さない場合は耳鼻科で手術療法を行うこともあります。

もう一つ、当院で行っていることが漢方治療です。鼻汁が多い体の中の水分の循環を改善するのか、血流を改善するのかまたは東洋医学的診察で漢方薬を決定して処方します。



血管運動性鼻炎に関しては生活で気をつけることは、

- ストレスをためない
- 睡眠不足にならない
- アルコールを飲み過ぎない
- たばこの煙やほこりを吸わない
- 規則正しい生活とバランスの取れた食事を心掛ける

等の点に注意し、症状を悪化させないようにして自律神経のバランスを整える努力が、大事で

10周年記念パーティ体験レポ

